



# 医療安全

## 転倒転落・誤薬防止部会ニュース

久里浜医療センター

発行 NO.3 2012年7月

医療安全推進担当者

転倒転落・誤薬防止部会

松井、川端、加藤、今 上嶋

今月は転倒・転落を防止  
しよう！！

## 皆さんの外来・病棟チェックリスト

今一度、次の項目をみなさんでチェックしてみましょう

- 認知障害・歩行障害のある患者さんが遠慮せず看護師に協力を求められるような接遇をしていますか。
- 段差やつまづきやすい部分が気づきやすいように工夫されていますか。
- 入院や転棟など環境の変化が転倒リスクを高くしていること認識していますか。
- めがね、補聴器、はきやすい靴、杖(病棟によって)、ヒッププロテクター、保護帽などの入院生活に必要な物品が整っていますか。
- 転倒リスクの高い患者さんについて、意計画立案後、受け持ち看護師が中心となり看護師間の情報共有、対策検討のカンファレンスが実施できていますか。
- ナースコールは患者の押しやすい手の届く場所にありますか。
- 「患者さんがナースコールを認識できているか」について看護師は理解していますか。
- 外来や入院時に家族が転倒しやすい状態であることを認識できているか。また、看護師が説明をしていますか。
- 申し送り中の患者さんへの対応は、どのように工夫し転倒・転落防止に努めていますか。

6月から新しいメンバーです！



部会では、現場の不足物品や困っている事をみなさんに聞きながら、安全な環境づくりに努めてまいります。担当者がお伺いの際は声をかけて下さい。

